

## 令和2年度第2回寒河江市振興審議会 議事概要

令和2年11月4日（水）9：00～11：00

寒河江市民文化センター2階 中央公民館ホール

【主席者】 委員17名 市長以下幹事、事務局

【欠席者】 委員 2名

### ●有識者意見要旨

#### 【第6次寒河江市振興計画の改定に係る各部会の文案について】

##### ○第1部会（教育・文化・スポーツ、地域自治、行財政運営分野）

- ・市民が市の情報を確かに受け取れるのは市報と考える。市報は重要な情報機関となるのでしっかりと取り組んでいただきたい。
- ・Uターン者の受け入れや誘客などの取り組みもあるが、基本となるのは地域づくりである。計画には地域づくりの視点を色濃く出していきたい。
- ・計画の第1章第4節の中で「豊かな心と健やかな体の育成」を掲げているが、心の部分で、子どもたちに芸術・文化に触れる機会を作っていくことを計画に盛り込んでほしい。
- ・市内民間企業からの寄付金を活用して、市内の小学校に電子黒板を導入したという話を伺った。電子黒板等の機材を現場で有効に活用していくため、教員等の関係者に対して研修の機会を作っていく内容を文案に加えてはどうか。
- ・計画の第4章第3節の目標・指標で、「市の審議会等における女性委員の比率」を40%にするという高い割合が掲げられており嬉しく思う。ただし、女性側からの書き方ではなく、「男女いずれの割合も40%を下回らない」という書き方に改めてはどうか。
- ・7月豪雨を機に、災害時における対応を地区レベルで検討する中で、色々な課題も見えてきた。例えば、3日分の食料は自分で避難所に持参するなどの対応が市民に十分に伝わっていない。地域全体としては防災に頑張ろうとする気持ちを持っているが、防災に対するそれぞれの考え方が上手くまとまらなかった印象がある。市が各地域をリードできる避難対応の雛形のようなものを示していただきたい。
- ・寒河江市職員の管理職における男女構成比はどうなっているのか。また、市としての目標はあるのか

##### ○第2部会（産業経済、都市基盤分野）

- ・若者に寒河江に残って欲しいが、就職先がなく県外に出ていく方も多い。戻ってきて就職できる企業を作ると同時に、労働条件の改善に一生懸命に取り組む企業に対しても支援を打ち出せると良いのではないか。

○第3部会（子育て・福祉・健康、市民生活分野）

- ・高齢化は進んでいく。元気な高齢者が多くいる中で、高齢者の就職支援だけでなく、地域の中で高齢者が活躍できるような仕組みづくりを市全体で横断的に進めていくことが必要ではないか。

【第6次振興計画の改定に係る基本政策体系について】

- ・情報化社会、デジタル化社会と言われて久しく経つが、日本が情報化社会をリードできない状況となっている。行政側としては情報化社会にどのように対応していくのかが見えてこない。今からでも少しずつ取り組まないと流れに乗っていけないと考えるがどうか。
- ・市立病院前が商業地に変わってきており、今年、道路整備により歩行者と自転車道が分けされた。「歩きやすい」「安全だ」という地域住民の声を聞いている。御礼申しあげたい。
- ・クマの出没等により、親が子どもに付き添わないと通学できない状況が山間部等で発生している。その対策についてはどうか。

【第6次振興計画の改定に係る新たな重点目標の設定について】

- ・重点目標3の関連で、SDGsの考え方には、環境問題、気候変動、貧困化などの様々な大きな問題が含まれることから、子どもたちの教育に取り入れ、学んでほしいと考えるがどうか。
- ・重点目標全体として、国が目指すSociety5.0や5Gを活かした「まちづくり」や「住みやすさ」というものを具体的に盛り込めるのではないか。病院に行かなくても診察を受けられる時代と言われる中、設定目標として盛り込むと良いのではないか。
- ・重点目標3で、情報化やグローバル化に対応した教育により、学力向上を推進するとあるが、「学力」という言葉に違和感がある。今は知っているだけではダメで、「できる」という心が大事だという時代。「気概」や「実践力」という言葉に置き換えてはどうか。
- ・重点目標1の中で、特別養護老人ホーム等の適正な整備とあるが、何をもって適正と考えるのか。
- ・重点目標1の中で、屋外児童遊戯施設の整備とあるが、このような施設では家族間での遊びに終始し、集団の遊びに発展していない。施設を整備するからには、ソフト事業面を充実させ、集団の遊びにつながるようお願いしたい。
- ・重点目標2では、「避難所の運営体制」、「迅速な初動体制」、「速やかな情報提供」が掲げられており、いずれも新型コロナウイルスや豪雨災害に関わるキーワードであるが、例えば、防災無線や個人受信機だけでは情報の伝達が不十分であるなどの課題も出ている。行動計画の策定においては、災害対応に係る具体的な取組を定めてほしい。

- ・重点目標3の中でコミュニティスクールの推進とあるが、学校に地域の方々を呼ぶことがコミュニティスクールとイコールになるのか。地域における子どもの育成とコミュニティスクールはどのような関連があるのか。コミュニティスクールは、地域における子どもの育成と考え方が合致するような取組にしてほしい。
- ・私自身、マイナンバーカードを持っているが全く活用できていない。情報化社会に向けてどのような社会を作っていくのかを研究し、具体的な対応を図っていく必要があるのではないかと。事務の効率化は当然のこととして、情報の活用によっていかに社会を良くするか、いかに安全な暮らしを作るのかを考え、市が先だって取り組まなければならない。情報化社会に行政として素早く対応できる基礎作り、方向性、施策が必要である。早急に取り組まなければ、寒河江市は遅れ、2、3番手になりかねない。時代が変わっていることをしっかりと認識する必要がある。
- ・重点目標2で「感染症発生時における速やかな情報提供」とあるが、情報提供によって感染者が特定されて、周囲から攻撃されるという状況が地方では起きている。このような問題に対しては、市内で感染者が発生してから対応を図るのではなく、何らかの取組を計画に反映させるなど、今から対策を考えていただきたい。
- ・重点目標2の関連で、災害時における避難所運営は重要な問題と考える。福祉避難所に障がい者や高齢者の方々がスムーズに避難できるようなマニュアルも必要であるため、計画の第3章第6節の中に、「福祉避難所」という言葉も入れていただきたい。
- ・重点目標2の災害時における避難については、市内の各地域や業種によっても意識に温度差があると感じているため、1人ひとりが自分のこととして受け止められるにしてほしい。また、避難者の駐車スペースも問題となるので、避難所近くの商業施設と災害協定を結ぶことで、駐車スペースを確保できるのではないかと。
- ・重点目標1の取組に「市民の憩いの場となる公園や緑地の計画的な整備」とあるが、東北一のつつじ公園と銘打っている以上、市外の方にも誇りを持って案内できる公園にしてほしい。
- ・今年度、コミュニティスクールが年4回の会議を開くことでスタートしているが、年4回の会議だけでは運営が難しい。例えば、学校の空き教室を活用し、地域の人が集まって子どもたちと関わることのできるスペースを設ける、または、会議を分科会方式にするなど、運営の手だてをもう少し細やかなものにしてはどうか。
- ・計画全体に関わることだが、情報を扱う機器の普及や導入は手段であり、どのように情報を使うか、活かすか、伝えるかが大事である。誰も取り残してはならないというSDGsの考え方からも、情報が届きにくい方に対して市政情報や緊急情報をどのように伝えていくのかを考えなければならない。そのときに重要なのが、計画の第4章第1節に記載ある「公民館やコミュニティセンター等を拠点とした地域づくり」であり、結局のところ、交

流等を通じた地域の絆づくりが重要ではないか。この基本的な部分である地域づくりに力を入れていくような文言を計画には反映させてほしい。

- ・このたびの豪雨における雨量は150mm程度と思うが、防災に取り組んでいくにあたり、この150mmという雨量規模を念頭に対策を検討していくのか。また、それを超える雨量規模を想定するのか。
- ・重点目標1の中で「人口減少の進行を一層緩やかにする」とあるが、自治体によっては民間企業と連携して婚活事業に取り組むところもある。寒河江市における婚活事業の取組状況はどうか。

#### 【寒河江市の将来目標人口（人口ビジョン）について】

- ・平成29年から令和元年にかけて転入者が増加に転じているということだが、その要因をどのように分析しているのか。
- ・数日前、東京では転入者よりも転出者が上回ったとの報道があった。移住者を誘いこむには良い状況かと思う。移住者に対する魅力ある政策や地域での支援が大事になるため、打ち出してはどうか。
- ・婚活に関する電話がよく架かってくる。それが市の取組なのか、信用できない民間の取り組みなのか分からず、紛らわしいところがある。寒河江市の婚活事業を特徴づけるような愛称を検討してはどうか。

#### 【参考】

- ※ 第1回寒河江市振興審議会（書面協議）：令和2年4月10日（金）  
会長の互選と振興計画改定に係る体制の決定を行った。
- ※ 第3回寒河江市振興審議会（書面協議）：令和2年12月1日（火）  
新第6次振興計画（案）の内容や文言修正に関する意見集約を行った。